

平成 28 年 3 月 15 日

株式会社サンフレッチェ広島  
代表取締役会長 久保 允誉 様

広島県知事 湯崎 英彦  
(地域政策局都市圏魅力づくり推進課)  
広島市長 松井 一實  
(市民局文化スポーツ部スポーツ振興課)  
広島商工会議所会頭 深山 英樹  
(産業・地域振興部地域振興チーム)

平成 28 年 3 月 8 日付「サッカースタジアム建設案に対する確認について  
(依頼)」に関する回答について

平成 28 年 3 月 11 日に受領いたしました、このことにつきまして次の通りご回答させていただきます。

今後の進め方については、これまでの検討経緯を踏まえ、現段階では、3 月末までに、一定の方向性を出していきたいと考えておりますが、サッカースタジアムの建設には、主要な利用者である御社のご意見が重要であると考えております。

先般(3 月 3 日)、御社からサッカースタジアム「**Hiroshima Peace Memorial Stadium**」(仮)建設プランが発表されましたが、我々としては、その内容について詳しくお聞かせいただくとともに、我々の検討状況についても十分ご説明させていただき、互いの理解を深めていきたいと考えております。

双方の意見交換の場としては、必要に応じて、例えば、御社社長、県副知事、市副市長、商工会議所副会頭レベルで協議の場を設けさせていただきたいと考えておりますが、まずは早急に事務レベルでの、お互いの情報共有、確認作業を進めさせていただきたいと考えており、先日の確認事項についてご解答をいただきますよう、改めてお願い申し上げます。

なお、サッカースタジアムに係るこれまでの検討経緯について、改めて確認させていただきたいと思いますが、我々としては次の通り認識しております。

サッカースタジアムについては、平成 24 年 8 月、御社と、県サッカー協会、サンフレッチェ広島後援会からサッカースタジアムの建設に向けた要望書を受けた県、市、商工会議所と県サッカー協会の四者で協議を行い、サッカースタジアムの整備に係る諸課題の解決策を導き出すため、幅広い議論を行う必要があるとの共通認識のもと、平成 25 年 6 月、サッカースタジアム検討協議会を設置しました。

委員には、四者で協議の上、県、市、経済界からは直接委員を出さず、サッカーや県・市のスポーツに精通した方々やまちづくりなどに精通した方々、小谷野前社長をはじめ11人の選任を経て、広島に相応しいサッカースタジアムのあるべき姿をご議論いただくとともに、諸課題についての解決策を取りまとめていただくこととしました。

検討協議会は、1年半に渡り公開で19回開催され、各委員の意見を踏まえながら、最終取りまとめに関しては、会長が原案を作成し、少数意見も記述した上で、各委員の了解を得るという手続きをとられたものです。

取りまとめとしては、全委員が了解した中で、建設候補地として、最終的に旧市民球場跡地と広島みなと公園に絞り込まれた「提言」が、平成26年12月に県知事、市長、商工会議所会頭、県サッカー協会会長の4者に提出されました。

検討協議会からの提言を受領後、平成27年1月に四者の会談を開き、今後、実務者レベルの作業部会を設け、提言における課題の検証を行い、できるだけ早く結論を出していく観点から、候補地や事業主体などについて、平成27年度内に一定の方向性を出すこととし、現在、その作業を進めているところです。なお、県サッカー協会は候補地の決定までは協議に加わらない旨の意向が示され、同協会は作業部会には入っておりませんが、作業部会と適宜情報交換を行っております。

サッカースタジアムの検討はこうした手順を適切に踏んで行ってきたものと考えております。こうした一連の作業は、サッカーファンを始め、多くの皆さんのサッカースタジアム建設の要望が強いことを受けたもので、また、御社が安定した経営を継続するために、採算性、事業可能性のあるスタジアムを整備する前提で検討を進めており、3月8日には資料提供し、説明をさせていただきました。この中では、資金調達方法の手法として、小谷野委員からご提案のあった「ふるさと納税」の導入なども採用するよう考えているところです。

この度のスタジアム建設検討の出発点を考えれば、要望を出されたサンフレッチェ広島、同後援会、広島県サッカー協会と、それを受け止めた広島県、広島市、広島商工会議所が相互に意思疎通と理解を深め、想いを共有することなくして建設への道筋はひらけないものと認識しております。

スタジアム建設に向けて盛り上がった機運を大切にし、将来に禍根を残さぬよう、また、最終的にはサッカーファンや関係者だけでなく、広く一般市民・県民の方々と喜びを共有できるようなスタジアムの建設を目指して参りたいと考えております。

今後とも、御社との合意形成に向けた努力を行いたい所存ですので、ご協力よろしくお願い申し上げます。